

VOICE 先輩の声

土木工事施工管理技士



工事部

藤坂さん (2014年入社)

建設学科ではなく、普通高校の高校を卒業し、入社して11年目になります。外で日光を浴びてのびのびと仕事をしたかったので、たち建設に入社しました。入社当初は現場準備を担当し、入社3年目に「施工管理に挑戦してみないか?」と上司に言ってもらい、今は公共工事を中心に現場の施工管理を担当しています。入社当初、建設業の知識はゼロ。測量業務に必要な三角関数の計算も苦手でしたが、上司や先輩から指導いただき、経験を積んだ今は全く問題ないです。施工管理はまず、先輩の作業を見て覚える。それから実践。工事の工程から一部分を任せてもらえた時は嬉しかったですね。そして、協力会社の職人さんとコミュニケーションを取りながら、「よいもの」を作る。これが何よりも一番楽しいです。

1日の流れ

8:00	朝礼・現場打ち合わせ
9:00~	施工・現場管理(測量、写真撮影、書類作成など)
10:00~10:30	休憩
10:30~12:00	施工・現場管理(測量、写真撮影、書類作成など)
12:00~13:00	昼休み
13:00~	打ち合わせ、施工・現場管理(測量、写真撮影、書類作成など)
15:00~15:30	休憩
15:30~17:00	終業(残業なし)
18時	帰宅(家族団らん)



休日はサイクリングでリフレッシュしています!



キャリアパス

- Year1** 上司や先輩の指導のもと、現場の測量や写真撮影を行い、工事全体の工程を把握し、現場施工に関わる技能試験や講習を通して知識を身に付ける。
- Year3** 先輩のサポートを受けながら、協力会社とも連携し、小規模な現場管理を経験する。
- Year5** 土木施工管理技士の資格を取得し、公共工事におけるより高いレベルの現場管理を行えるようになる。
- Year7** これまでの経験を踏まえ、後輩たちに現場指導を行いながら、現場管理を手掛ける。
- Year10** 発注者との打ち合わせを行い、合理的かつ効率的な現場管理を行える土木施工管理技士として、活躍できるようにする。

重機操作のプロフェッショナルを目指す仕事。



VOICE 先輩の声

重機オペレーター



環境開発部

山口さん (2024年入社)

たち建設に入ったキッカケは、父親が建設会社に勤めていて重機の操縦や山の工事をしているのを幼い頃から見てきたこと、「大きい重機を自由に操縦してみたい!」これに尽きます。今の目標は先輩の操縦技術に少しでも近づき、重機オペレーターとして作業スピードや正確性をもっと磨くことです。重機に乗ることが今は本当に面白いので、現場に携わる上司や先輩と打ち合わせをしながら、実際にその予定通りに進めて業務を完了させることにやりがいと達成感を感じます。一日中同じ作業が続く時もあるので、忍耐力と集中力が必要な時はあります。でもそれが建設業の仕事だと思いますし、高校ではバレーボール部のキャプテンでありエースだったので、忍耐と集中はどちらも自信ありますね(笑)。

1日の流れ

8:00	朝礼・重機の点検
8:30~	重機の運転・操縦
10:00~10:30	休憩
10:30~12:00	重機の運転・操縦
12:00~13:00	昼休み
13:00~15:00	重機の運転・操縦
15:00~15:30	休憩
15:30~17:00	終業・日報
18:00	帰宅



休日は溪流釣りを楽しんでいます!



キャリアパス

- Year1** 車両系建設機械技能講習にて資格を取得した後、バックホウを操作しダンプトラックへの積み込み作業を行えるようになる。
- Year3** ブルドーザを操作し、平地や傾斜地での作業を習得する。
- Year5** 小型ブルドーザを使用して、道路や水田の整形(完了)作業ができるようになる。
- Year7** 道路やダムなどの重機土工事にも、活躍の場を広げる。様々な重機を操作でき、広範囲な場所や狭い箇所でも操作技術を発揮する。
- Year10** いろいろな工事現場において、開始から完了までの施工イメージができて現場での作業指示・重機選定を行えるようになる。

ここで生活するすべての人に  
安心と安全をもたらす仕事。

